

公立園の最適化について検討するにあたり

【はじめに】

近年、少子化が進行し子どもの数は年々減少している中で、女性の社会進出による就労形態の変化や核家族化の進行に伴い、教育・保育に対するニーズは多様化し、子どもを取り巻く環境は大きく変化しております。

本市においても、保護者の就労の増加等により、保育所及び認定こども園の入所希望者は増加している一方で、幼稚園の利用者は減少し、とりわけ公立幼稚園においては定員を大きく下回っている状況となっております。

また、公立保育所においては、園舎建設当時の施工状態の不具合より、耐震工事ができず仮園舎で対応している園もあり、安定した子育て支援サービスを提供するために、いかに対応していくのかという課題も生じております。

そのような状況の中、改めて、今後の本市における公立の幼稚園、保育所及び認定こども園の担うべき役割や、教育・保育の適正な提供体制等の公立園の最適化について検討を行うため検討委員会を設置しました。

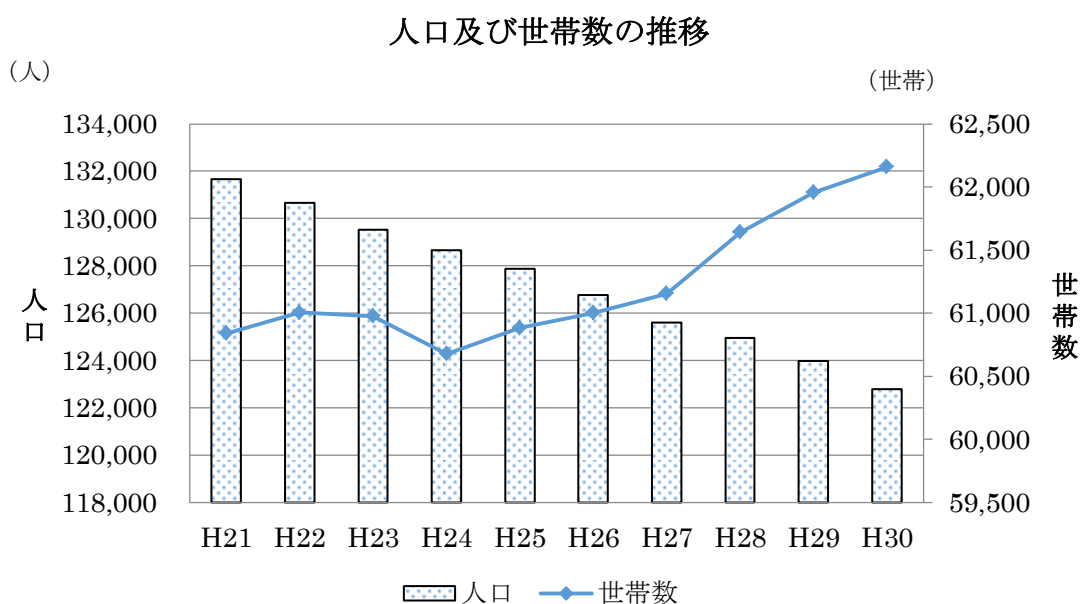
次ページ以降、これから検討委員会にて公立園の最適化について検討するにあたり、本市の人口動態等の状況や、就学前の教育・保育を取り巻く現状等について取りまとめております。

【門真市の状況】

1. 人口の推移（10月1日時点）

門真市の人口は平成30年10月1日現在122,787人で、平成21年～平成30年の10年間で8,877人（約6.7%）減少しています。また、世帯数は平成30年10月1日現在62,160世帯で、平成21年～平成30年の10年間で1,319世帯（約2.2%）増加しています。推移を見ると平成23年～平成24年は減少したものの、平成25年以降は増加傾向に転じています。

世帯数はやや増加傾向にあるものの、人口は今後も減少傾向が続くと考えられます。



(単位:人・世帯)

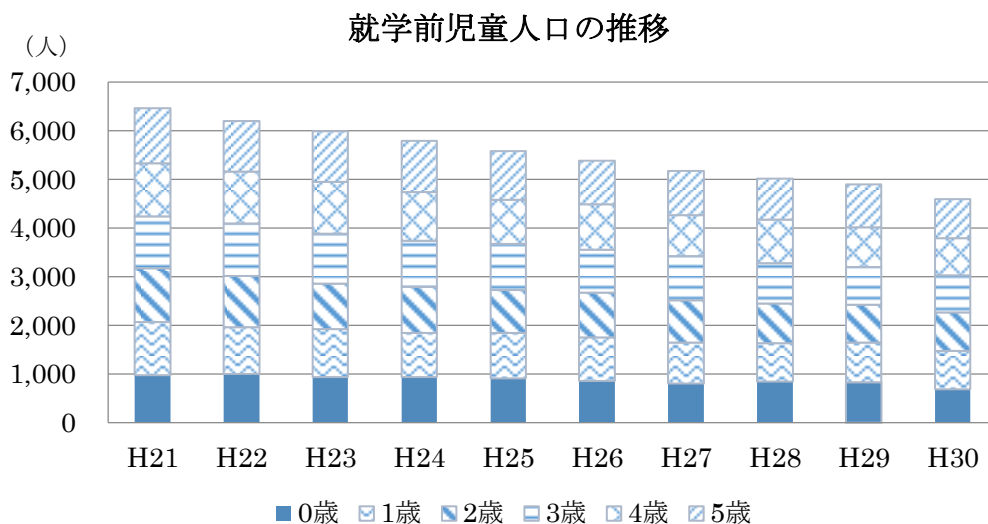
年次	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
人口	131,664	130,658	129,520	128,652	127,862	126,756	125,612	124,952	123,972	122,787
世帯数	60,841	61,005	60,976	60,677	60,884	61,002	61,156	61,641	61,955	62,160

※各年10月1日現在の住民基本台帳法に基づく数値です。

2. 就学前児童人口の推移

就学前児童人口は平成30年10月1日現在4,593人で、平成21年～平成30年の推移を見ると10年間で1,868人（約28.9%）減少しています。

また、「1. 人口の推移」の人口と比較すると就学前児童人口の減少率の方が大きく、就学前児童人口の減少が顕著となっています。



(単位: 人)

年次	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
就学前児童人口(合計)	6,461	6,205	5,988	5,794	5,587	5,382	5,179	5,015	4,893	4,593

※各年10月1日現在の住民基本台帳法に基づく数値です。

3. 小学校区別就学前児童人口の推移

【小学校区別の就学前児童人口の推移】

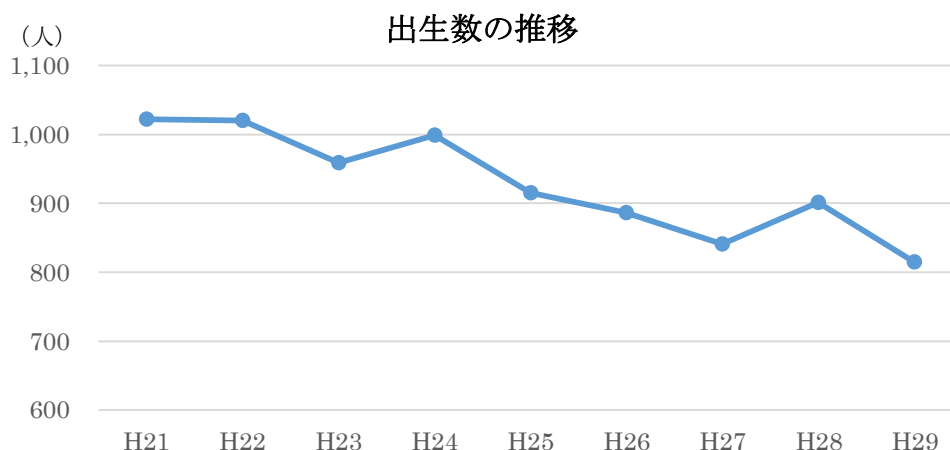
(単位:人)

校区	H27	H28	H29	H30	H31	5年間の減少率
市全域	5,270	5,075	4,930	4,749	4,496	14.69%
門真校区	447	447	440	417	384	14.09%
大和田校区	270	266	237	233	234	13.33%
二島校区	472	459	440	420	397	15.89%
四宮校区	541	501	473	442	411	24.03%
古川橋校区	299	289	299	298	280	6.35%
沖校区	343	316	300	278	259	24.49%
上野口校区	301	270	268	257	248	17.61%
速見校区	555	547	554	530	516	7.03%
脇田校区	389	375	362	333	326	16.20%
北巢本校区	186	178	191	189	171	8.06%
五月田校区	230	212	200	203	191	16.96%
東校区	369	385	386	395	336	8.94%
砂子校区	207	179	139	116	93	55.07%
門真みらい校区	661	651	641	638	650	1.66%

※各年4月1日現在の門真市統計「(男女別)小学校区別・年齢(各歳)別人口」より

4. 出生数の推移

平成29年の出生数は815人で、平成21年～平成29年の出生数の推移を見ると平成24年以降に大きく減少しており、平成28年は一時増加に転じるものの全体としては減少傾向にあることが分かります。



(単位:人)

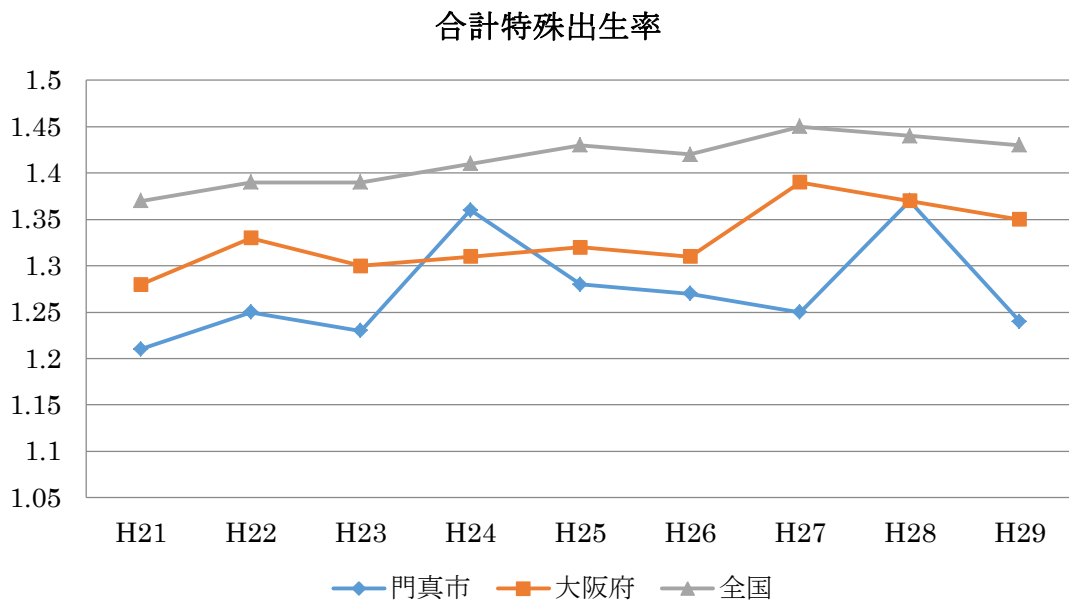
年次	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
出生数	1,022	1,020	959	999	915	886	841	901	815

※各年の戸籍法による届出数です。

5. 合計特殊出生率の推移

平成29年の合計特殊出生率は1.24で、平成21年～平成29年の合計特殊出生率を大阪府と比較すると、平成24年は大阪府の数値を上回り、平成28年は同数であるものの、それ以外の年度では下回る水準で推移しています。

また、全国と比較すると常に下回る水準で推移しています。



年次	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
門真市	1.21	1.25	1.23	1.36	1.28	1.27	1.25	1.37	1.24
大阪府	1.28	1.33	1.30	1.31	1.32	1.31	1.39	1.37	1.35
全国	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43

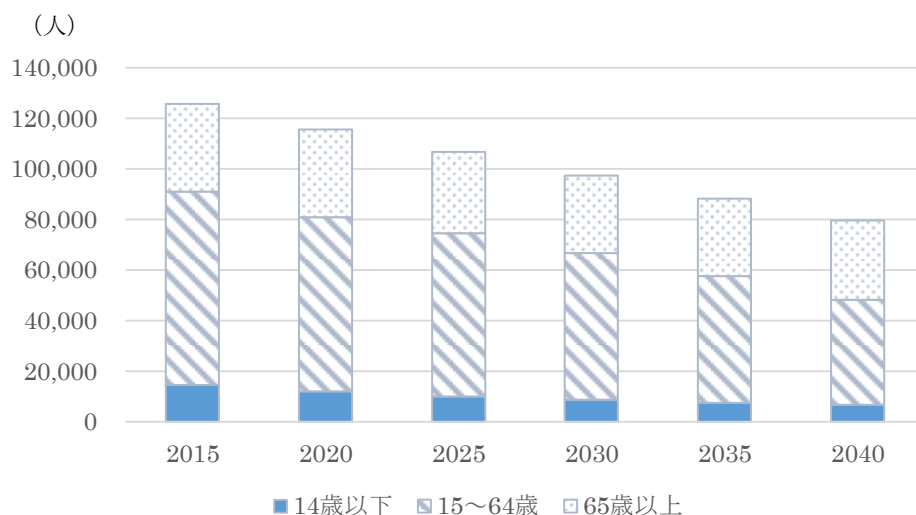
※門真市の数値は「門真市統計書」より引用。

※大阪府及び全国の数値は厚生労働省「人口動態統計(確定数)の概況」より引用。

6. 将来推計人口

2040年までの人口の推移（推計）を見ると、減少傾向が続くと推計されており、2015年から2040年の25年間で46,066人（約36.7%）減少しています。また、65歳以上は減少幅が小さいのに対し、14歳以下、15歳～64歳は減少幅が大きく、特に14歳以下では2015年と比較すると約53.2%の減少と半分以下になっています。

将来人口の推計



(単位:人)

年次	2015 (H27)	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2040 (R22)
65歳以上	34,582	34,682	32,250	30,670	30,587	31,354
15歳～64歳	76,486	69,029	64,500	58,072	50,010	41,380
14歳以下	14,544	11,950	10,014	8,661	7,581	6,812
合計	125,612	115,661	106,764	97,403	88,178	79,546

※2015(平成27)年は実績値。10月1日現在の住民基本台帳法に基づく数値です。

※2020(令和2)年以降は推計値。国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より引用。

7. これまでの就学前児童数とこれからの推計就学前児童数

平成27年から平成31年までの就学前児童数の実績値を見ると、平成27年から平成31年にかけて774人減少しています。

また、実績値を基に平成31年から令和10年までの推計値を算出すると、平成31年には4,496人であった就学前児童数が、10年後の令和10年には3,482人となり1,014人（約22.6%）の減少となります。

(単位:人)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
実績値	H27	798	892	916	853	909	902	5,270
	H28	814	784	855	891	832	899	5,075
	H29	840	807	760	821	876	826	4,930
	H30	740	804	793	743	800	869	4,749
	H31(R1)	728	700	765	777	734	792	4,496

(単位:人)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
推計値	R2	713	689	666	750	768	727	4,312
	R3	699	674	655	653	740	760	4,182
	R4	685	661	642	642	645	733	4,008
	R5	671	648	629	629	634	638	3,849
	R6	658	635	617	616	621	628	3,775
	R7	645	622	604	604	609	615	3,699
	R8	632	610	592	592	597	603	3,626
	R9	619	598	581	580	585	591	3,553
	R10	607	586	569	569	573	579	3,482

※1歳～5歳に関しては、コーホート変化率法を用いて算出。(コーホート変化率法とは、一定期間における人口の変動割合を算出し、今後も同様の割合で人口が変動していくと仮定して将来の人口を算出する方法)

※0歳については、コーホート変化率法が使用できないことから、平成27年から平成28年、平成28年から平成29年、平成29年から平成30年の0歳人口の増加率を算出し、その増加率の平均を平成30年度の0歳人口に乗じて平成31年の0歳人口を算出。同様に同じ増加率を使用し令和10年度まで推計。

【門真市の公立・私立園の状況】

1. 幼稚園・保育所・認定こども園等について

(1) 幼稚園

○小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行う学校

根拠法令：学校教育法（文部科学省管轄の教育施設）

対象：公立園 4歳から小学校就学前

私立園 満3歳から小学校就学前

認定区分：1号認定（教育標準時間認定）

市内設置数：公立園1園（大和田幼稚園） 私立園5園

(2) 保育所

○就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設

根拠法令：児童福祉法（厚生労働省管轄の児童福祉施設）

対象：0歳から小学校就学前

認定区分：2号及び3号（保育認定）

市内設置数：公立園2園（上野口保育園・浜町保育園） 私立園6園

(3) 認定こども園

○幼稚園と保育所の機能や特長をあわせ持ち、地域の子育て支援も行う施設

根拠法令：就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律
（文部科学省、厚生労働省管轄の幼保一体型施設）

対象：0歳から小学校就学前

認定区分：1号（教育標準時間認定）、2号及び3号（保育認定）

市内設置数：公立園1園（砂子みなみこども園） 私立園10園

(4) 小規模保育

○少人数（19人以下）を対象に、家庭的な雰囲気のもときめ細やかな保育を行うもの

根拠法令：児童福祉法（厚生労働省管轄の地域型保育事業の1つ）

対象：0歳から2歳

認定区分：3号（保育認定）

市内設置数：私立施設12箇所

2. 利用状況の推移

【保育施設利用者数の推移】

(単位:人)

区分	施設	平成29年度			平成30年度			平成31年度		
		①定員(2、3号)	②在籍数	残枠(①-②)	①定員(2、3号)	②在籍数	残枠(①-②)	①定員(2、3号)	②在籍数	残枠(①-②)
保育所	上野口保育園	70	66	4	70	69	1	70	69	1
	南保育園	180	174	6						
	浜町保育園	100	99	1	100	90	10	100	90	10
	公立園 合計	350	339	11	170	159	11	170	159	11
	私立園 合計	690	738	-48	690	711	-21	620	611	9
認定こども園	砂子みなみこども園				190	181	9	190	170	20
	私立園 合計	1,143	1,138	5	1,143	1,126	17	1,317	1,235	82
小規模保育事業 合計		74	55	19	120	103	17	188	105	83
合計		2,257	2,270	-13	2,313	2,280	33	2,485	2,280	205
充足率(②/①)		100.58%			98.57%			91.75%		

※各年度4月1日現在の数値です。

※在籍数には他市在住の利用児童数含む。

【幼稚園及び認定こども園(1号部分)利用者数の推移】

(単位:人)

区分	施設名	平成29年度			平成30年度			平成31年度		
		①定員(1号)	②在籍数	残枠(①-②)	①定員(1号)	②在籍数	残枠(①-②)	①定員(1号)	②在籍数	残枠(①-②)
公立園	砂子みなみこども園(※1)				65	25	40	70	19	51
	南幼稚園	130	32	98						
	大和田幼稚園	130	59	71	130	47	83	130	50	80
公立園 合計		260	91	169	195	72	123	200	69	131
公立園 充足率		35.00%			36.92%			34.50%		
私立園	認定こども園 合計	338	266	72	338	243	95	358	232	126
	幼稚園 合計(※2)	2,515	1,392	1,123	2,515	1,334	1,181	2,135	1,201	934
私立園 合計		2,853	1,658	1,195	2,853	1,577	1,276	2,493	1,433	1,060
私立園 充足率		58.11%			55.28%			57.48%		
総合計		3,113	1,749	1,364	3,048	1,649	1,399	2,693	1,502	1,191
総充足率(②/①)		56.18%			54.10%			55.77%		

(※1) 砂子みなみこども園の定員数は、4歳児と5歳児の合計(3歳児は除く)。

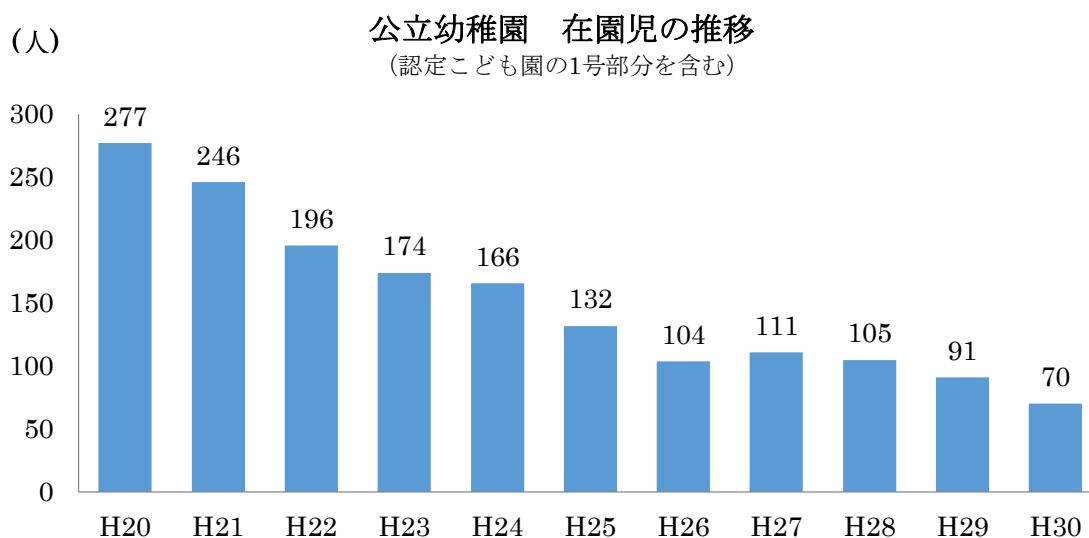
(※2) 平成31年3月にだいわ幼稚園が閉園。

(※3) 認定こども園は各年度4月1日現在の数値、幼稚園は各年度5月1日現在の数値です。

(※4) 在籍数には他市在住の利用児童数含む。

3. 幼稚園の利用者の減少について

女性の就業率の増加や保育認定の就労時間の見直し等による保育ニーズの高まり及び少子化の進行に伴い、公立・私立ともに幼稚園の利用者が減少しています。



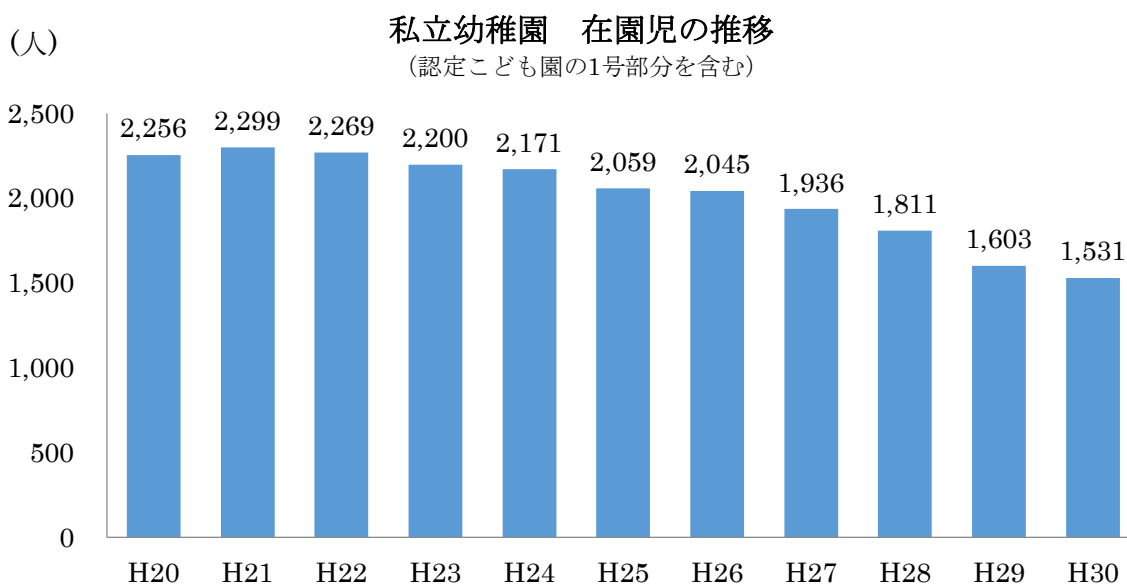
※平成20年～平成25年は北巢本幼稚園、浜町幼稚園、大和田幼稚園、南幼稚園。

※平成26年～平成29年は大和田幼稚園、南幼稚園。

※平成30年～平成31年は大和田幼稚園、砂子みなみこども園（1号認定部分）。

※各年5月1日現在の数値です。

※在籍数には他市在住の利用児童数を含まない。



※各年5月1日現在の数値です。

※在籍数には他市在住の利用児童数を含まない。

4. 保育施設の入所状況（平成31年4月1日時点）

【保育所】

（単位：人）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
上野口保育園	定員	6	10	12	12	15	15	70
	在園児数	5	10	10	14	14	16	69
浜町保育園	定員	6	10	17	22	22	23	100
	在園児数	6	10	16	18	20	20	90
公立園 合計	定員	12	20	29	34	37	38	170
	在園児数	11	20	26	32	34	36	159
私立園 合計	定員	49	96	115	119	120	121	620
	在園児数	36	93	112	123	119	128	611
合計	定員	61	116	144	153	157	159	790
	在園児数	47	113	138	155	153	164	770

【認定こども園】

（単位：人）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
砂子みなみこども園	定員	12	20	36	40	40	42	190
	在園児数	9	19	32	39	32	39	170
私立園 合計	定員	131	198	221	248	259	260	1,317
	在園児数	105	195	215	248	223	249	1,235
合計	定員	143	218	257	288	299	302	1,507
	在園児数	114	214	247	287	255	288	1,405

【小規模保育事業】

（単位：人）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
合計	定員	35	69	84	 	 	 	188
	在園児数	6	35	64	 	 	 	105

【総合計】

（単位：人）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
総合計	定員	239	403	485	441	456	461	2,485
	在園児数	167	362	449	442	408	452	2,280

5. 待機児童数の推移について

平成27年度から平成31年度までの、4月1日時点での待機児童数を見ると、平成27年度までは待機児童は発生していませんでしたが、平成28年度から平成30年度にかけて待機児童が発生しました。

しかしながら、平成31年度の速報値によれば、待機児童は解消されています。

【4月1日時点待機児童数の推移】

(単位:人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
平成27年度	0	0	0	0	0	0	0
平成28年度	0	5	15	9	2	2	33
平成29年度	0	13	0	3	1	0	17
平成30年度	0	6	0	0	0	1	7
平成31年度※	0	0	0	0	0	0	0

※平成31年度については速報値。

6. 障がい児の入所について

平成27年度から平成31年度までの保育所、幼稚園、認定こども園の障がい児受入人員を見ると、私立よりも公立のほうが1施設あたりの受入人員について多い傾向にあります。

施設の種類の比較すると、1施設あたりの受入人員は幼稚園が最も多く、保育所が最も少なくなっており、特に、公立幼稚園に障がい児の入所が多い傾向があります。

【4月1日時点障がい児受入人員】

(単位:人)

		平成27年度			平成28年度			平成29年度		
		施設数	障がい児 受入人員	1施設あたり の受入人員	施設数	障がい児 受入人員	1施設あたり の受入人員	施設数	障がい児 受入人員	1施設あたり の受入人員
保育所	公立	3	31	10.3	3	36	12.0	3	37	12.3
	私立	10	26	2.6	8	11	1.4	7	14	2.0
	計	13	57	4.4	11	47	4.3	10	51	5.1
幼稚園	公立	2	37	18.5	2	36	18.0	2	38	19.0
	私立	2	14	7.0	3	18	6.0	3	23	7.7
	計	4	51	12.8	5	54	10.8	5	61	12.2
認定こども園	公立									
	私立	3	16	5.3	7	33	4.7	9	42	4.7
	計	3	16	5.3	7	33	4.7	9	42	4.7
合計	公立	3	31	10.3	3	36	12.0	3	37	12.3
	私立	13	42	3.2	15	44	2.9	16	56	3.5
	合計	16	73	4.6	18	80	4.4	19	93	4.9

		平成30年度			平成31年度		
		施設数	障がい児 受入人員	1施設あたり の受入人員	施設数	障がい児 受入人員	1施設あたり の受入人員
保育所	公立	2	16	8.0	2	21	10.5
	私立	7	15	2.1	6	9	1.5
	計	9	31	3.4	8	30	3.8
幼稚園	公立	1	23	23.0	1	19	19.0
	私立	3	23	7.7			
	計	4	46	11.5			
認定こども園	公立	1	13	13.0	1	18	18.0
	私立	9	39	4.3	10	42	4.2
	計	10	52	5.2	11	60	5.5
合計	公立	3	29	9.7	3	39	13.0
	私立	16	54	3.4	16	51	3.2
	合計	19	83	4.4	19	90	4.7

※福祉行政報告例の障がい児受入人員より集計(報告例に小規模は含まれないため未集計)

※私立幼稚園の数は大阪府より提供(平成31年度は未集計のため記載なし)。大阪府へ特別支援教育費補助金の申請をしている施設のみを対象とした数値を記載

【門真市の公立園について】

1. 施設の現状

【1号(教育)】

園名称	建築年 (築年数)	定員	園児数【H31.4.1】 (充足率)	耐震性能	備考
大和田幼稚園	昭和52年 (42年)	130名 4歳:60名 5歳:70名	50名(38.5%) 4歳:21名 5歳:29名	あり	平成26年9月 耐震診断実施
砂子みなみこども園 (1号部分)	平成30年 (1年)	70名 3歳:5名 4歳:30名 5歳:35名	19名(27.1%) 4歳:8名 5歳:11名	あり	

※砂子みなみこども園の3歳の定員は2号認定 から1号認定への切り替えを考慮して設定。

【2・3号(保育)】

園名称	建築年 (築年数)	定員	園児数【H31.4.1】 (充足率)	耐震性能	備考
上野口保育園	昭和43年 (51年)	70名	69名 (98.6%)	あり	平成30年10月 耐震工事完了
浜町保育園	昭和46年 (48年)	100名	90名 (90.0%)	なし	耐震工事不可
砂子みなみこども園 (2・3号部分)	平成30年 (1年)	190名	170名 (89.5%)	あり	

2. これまでの公立園統廃合の経過について

①幼稚園

平成26年4月～：適正配置により4園→2園に統合

【統廃合時の考え方】

- ・公立幼稚園の配置は、国道163号を挟んで南北に1園ずつとする。
(浜町幼稚園は西寄り、北巢本幼稚園は東寄りのため、北部側中央に位置する大和田幼稚園を存続)
 - ・再構築に伴う通園距離の負担に対応するため、通園バスを開始。
 - ・サービスの充実のため、時間外教育を実施。
- ※門真市幼児教育基本計画（平成23年12月）

②保育所

平成21年4月～：民営化により7園→3園

【民営化時の考え方】

- ・公立保育所の配置は、児童人口等の均衡を考慮することに加え、公立保育所3か所と、地域子育て支援センター1か所の4か所で地域子育て支援を実施することとして、市内を4つの区域に分類。
- ※門真市立保育所民営化方針（平成19年5月）

③認定こども園

平成30年4月～ 南保育園と南幼稚園を砂子みなみこども園として統合

【統合時の考え方】

- ・南幼稚園と南保育園の老朽化に対する安全確保。
南部の子育て支援施策の拠点化。